



黒門通信

2024年
vol.3

10月31日(木) 発行

* 各部長にインタビュー

新体制の部活動になってから少し時は経ち、各部活動も活発に動いています。そんな中、今回は「硬式野球部」、「男子ハンドボール部」、「弓道部」、「男子ソフトテニス部」の部長さんに意気込みを聞かせていただきました。

・硬式野球部

夏ベスト8以上を目標として日々練習に励んでいます。応援よろしくお願いします。

・男子ハンドボール部

一戦必勝、関東全国上位を目指して、日々練習に励んでいます。周りから応援されるチームになれるよう頑張ります。

・弓道部

部員とのコミュニケーションを大切に、雰囲気の良いチーム作りをし、目標にむかって頑張りたいです。

・男子ソフトテニス部

団体戦1勝を目標に、楽しみながら頑張りたいです。

* 富高について

今回は群馬県内の中学生の方々に向けてもこの通信を発行するので、富岡高校について少し深掘りしていきます。

【富岡高校の概要】

- ・2018年、富岡高校（男子校）と富岡東高校（女子校）が統合し、富岡高等学校（男女共学）が開校。
- ・校内には、通称「御殿」と呼ばれる旧七日市藩の藩邸と庭園・黒門が残されている。
- ・校訓は人品雅致、質実剛健、自主自立。
- ・オリジナル進路指導プログラム「黒門プロジェクト」を策定し、サクセスシステム（学習支援策）とドリームプラン（進路意識高揚策）を組み合わせで指導する。
- ・ハンドボール部や新体操部が、長年全国レベルの実力を持つことで知られる。ほかにも、陸上競技部、弓道部は常に県内上位にランクインしている。

【富岡高校の外観】



↑ 正門



↑ 新校舎（左） 教室（右）

富岡高校について在校生にインタビューしてみました！

Q、富高に入るまでの富高の印象は？

A、「勉強熱心」「共学高になった」



Q、富高に入ってからの富高の印象は？

A、「やっぱり勉強」「和気あいあいとした雰囲気」「楽しく学校で過ごすことができる」

*まとめ

今回の通信は、富岡高校について深堀りしました。インタビューを行った中で、富高は楽しいと答える人が多かったです。「勉強の印象が強い」と感じる在校生がほとんどですが、「今年から毎年開催になった桜楓祭、先日2日間開催で行われたスポーツフェスティバルなどの行事が楽しい」と感じ、富高で楽しく過ごしている生徒も多かったです。また、部活動では秋の大会や新体制についての意気込みを語る人もたくさんいました。富高生は、学習、学校行事、部活動、それぞれに全力なことがわかりました。

*新聞委員の視点

9月14日、15日に学校説明会が行われ、富高への入学を考えている中学生に向けて校舎見学などが行われた。新型コロナウイルスによる影響も影を潜め始め、充実した高校生活を送れる環境になっている。さらに今年から毎年開催になった桜楓祭は生徒から評判も高く、所々で喜びの声が聞こえる。また、体育祭から名を変えた「スポーツフェスティバル」も今年から開催される。このような環境やイベントが中学生を魅了し富高生になりたいと思ってもらえることは素晴らしいことだ。そして、富高はさらに活気で溢れみんなで支えあえる学校になっていこう。

私は富岡高校は生徒一人ひとりが前向きに学習に取り組んでいると感じます。また、黒門手帳を毎週提出するなど、自己管理もしっかりできています。先生は2者面談を行うなど、生徒一人ひとりに寄り添い向き合っています。サポートが手厚く充実されています。

僕は富岡高校の生徒は行動力があってとても良いと思います。なぜなら、5月に行われた文化祭では生徒が中心となって企画や運営をしていたからです。また、最近では10月に行われるスポーツフェスティバルのために自分たちで話し合ったり、スキマ時間を使って練習したりしていたからです。